

ジンセンベリー抽出物摂取が高脂肪食負荷マウスの糖代謝、脂質代謝および血圧に及ぼす影響

本 三保子、羽村友香梨、神田千尋、時田歩実、高見澤菜穂子、松本聡、矢澤 一良
和洋女子大・家政、(株)エル・エスコレーション、早大・ナノライフ創研機構

【目的】 オタネニンジン (*Panax ginseng* C.A.Meyer) は、別名チョウセンニンジンともいうウコギ科の多年草植物である。肥大した根はニンジンとして古くから薬用に使用されており、果実はジンセンベリーとして近年食品に利用されている。本研究では、ジンセンベリーのメタボリックシンドローム予防効果を検討する目的で、高脂肪食負荷マウスの糖代謝、脂質代謝および血圧に及ぼす影響を検討した。

【方法】 ジンセンベリー抽出物 (Ginseng Berry extract; GBex) は、果実を抽出・乾燥させたものを使用し、比較のために根を蒸して抽出・乾燥させたもの (Ginseng Root extract; GRex) を使用した。C57BL/6j 雄性マウスを 4 群に分け、標準食、高脂肪食、高脂肪+GBex 混餌食、高脂肪+GRex 混餌食をそれぞれ 17 週間摂取させた。摂取期間中は毎週体重を測定し、飼育最終週には血圧を測定した。飼育最終日には採血および内臓重量の測定を行い、得られた血清を用いて生化学分析を行った。

【結果および考察】 高脂肪食群は標準食群に比べて体重が有意に増加し、内臓脂肪重量も有意に高値を示した。さらに、高脂肪食群は標準食群と比較して、血圧、血清中のグルコースおよび中性脂肪値が有意に高値を示した。GBex 群は高脂肪食群に比べて体重増加が有意に抑制され、内臓脂肪重量も有意に低値であった。また、GBex 群は高脂肪食群に比べて血圧および血清中性脂肪値が低値傾向であった。一方、GRex 群は高脂肪食群に比べて血圧および血清中性脂肪値のみ低値傾向であった。以上の結果より、ジンセンベリー抽出物の長期摂取がメタボリックシンドローム予防に有用である可能性が示唆された。